

「2020年度営業関係施策(その3)について」提案を受ける!!

10月2日、東京地本は会社より「2020年度営業関係施策(その3)について」提案を受けました。今回の提案は、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築し、グループの持続的な成長につなげていくためとしています。安全・サービスレベルの向上とそれを支える知識・技能の教育の場が必要であること、お客さまの利便性を著しく低下させていないか、議論を深めていく必要があります。地本は現場の皆さんの声を集約し、団体交渉を申し入れていきます。

有楽町駅	駅業務全般委託(管理駅:新橋駅)	2021年3月1日	出札3窓→2窓体制に変更 改札から出札への応援取りやめ
	出札・改札販売体制見直し (全日9:00~19:00に変更)	2021年2月1日	
新橋駅	出札体制の見直し (全日9:00~19:00に変更)	2021年2月1日	土日ダイヤを全日に統一 標準数87→84
飯田橋駅	駅業務全般委託(管理駅:水道橋駅)	2021年4月1日	
恵比寿駅	駅業務全般委託(管理駅:渋谷駅)	2021年2月1日	
原宿駅	駅遠隔システム導入(竹下口)	2021年3月20日	標準数20→18
上野駅	中央券売機室の業務委託	2021年1月12日	出札ピーク時6窓体制を5窓化 標準数175→162
	出札体制の見直し	2021年1月12日	
	営業助役体制の見直し	2021年1月12日	

●委託個所の遠隔システム導入

御徒町駅	駅遠隔システム導入(南口)	2021年2月27日	制御箇所:北口
高田馬場駅	駅遠隔システム導入(戸山口)	2021年3月6日	制御箇所:早稲田口
目白駅	駅遠隔システム導入(本屋口)	2021年3月6日	制御箇所:高田馬場駅早稲田口

提案を受けるにあたり、地本の考え方を述べる!!

- 飯田橋駅の全般委託については、前回の施策を実施したばかりで時期尚早だ!丁寧さに欠けている!
- 経営環境の変化はあるが、施策の進め方については計画性を感じない!環境が変化すればその都度立ち止まって考えるべきだ!委託の考え方については別の場を求めていく!
- 新幹線停車駅は本体運営すべきだ!一部委託するべきではない!
- なぜ、オリンピックを控えたこの時期での委託提案なのか
- エルダの先輩方で駅業務を希望されている方と、委託個所の拡大はマッチした数なのか。不透明だ!
- 委託個所への遠隔システム導入は、雇用の確保と整合性が取れない

効率化ありきではなく、安全・サービスが向上する施策を実現しよう!!